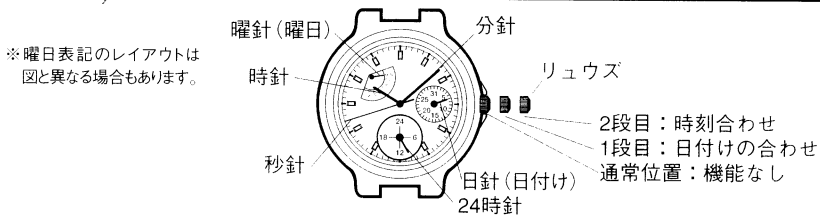


■製品の特長

時・分・秒のほかに、24時、日付け、曜日も針で示します。
 曜日針は、扇状の往復（レトログランドタイプ）運針をします。
 ※24時針は時針に連動して動きます。単独には修正できません。
 ※曜日を指す曜日針には、修正機構がありませんので、時刻合わせの際、時・分針を回して合わせるようになります。
 →「**ご使用方法**」をご参照ください。

■各部の名称とはたらき

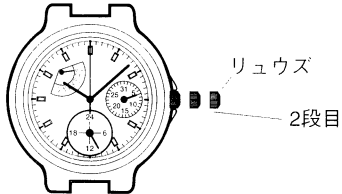


■ご使用方法

●曜日の合わせかたと時刻の合わせかた

曜日を指す曜日針には修正機構がありませんので、時刻合わせの際、時・分針を回して曜日を合わせることはできません。

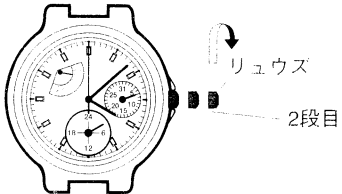
1 秒針が12時位置（0秒）に来たときにリューズを2段目まで引き出します。時計が止まります。



2 リューズを右に回し、時・分針を進めていき、午前0時を通過すると、曜日針が動き始めます。

曜日針が次の曜日を指し示すまでさらに時・分針を進めてください。
 曜日針をさらに送る必要がある場合は、逆に時・分針を4～5時間戻してから、再び進み方向に時・分針を回すと、曜日針を早く進めることができます。
 これを繰り返して、曜日を合せてください。（午後11時ごろ～午前4時ごろを往復して合わせます）

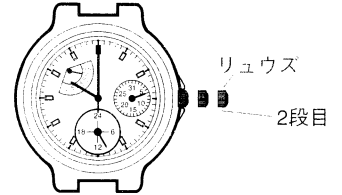
※リューズの回転は静かに行なってください。



3 曜日を合わせたら、時刻を合わせます。

※午前午後を間違えないように、合わせてください。（日付け・曜日は24時間に1度変わるよう設計されています）

※正確に合わせるためには、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせてください。
 ※時刻合わせには、電話時報サービス117が便利です。

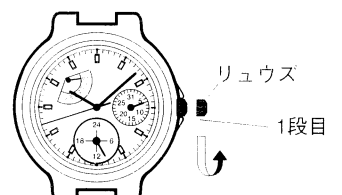


4 合せた時刻の時報を待ち、時報と同時にリューズを押し込んでください。

●日付けの合わせかた

時刻合わせ後、日付けを合わせ直すとき、前月の小の月（1ヵ月の日数が30日の月と2月）で月初の日付けの修正のときに行ないます。

1 リューズを1段目に引き出してください。



2 リューズを左に回して日付けを合せてください。

※日針の動きを確認するように静かにリューズを回してください。
 ※時計の針が、午後9時～午前1時にあるときは、日付けの合わせをしないでください。
 合わせができなかったり、合わせても次の日に日付けが変わらないことがあります。

3 合わせ終わったら、リューズを押し込んでください。

■「ルミブライト」について

[お買い上げの時計がルミブライトつきの場合]

ルミブライトは太陽光や照明器具の明かりを短時間（約10分間：500ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約3～5時間）光を放つ蓄光物質です。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度（明るさ）は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収度合により光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。

■製品の仕様

1. 水晶振動数……………32,768Hz
 2. 時間精度……………平均月差±20秒
 ※5℃～35℃において腕につけた場合
 3. 作動温度範囲……………-5℃～+50℃
 4. 駆動方式……………ステップモーター式
 5. 使用電池……………小型酸化銀電池 SB-AN：1個
 6. 電池寿命……………約3年
 7. 電子回路……………発振、分周、駆動回路（C-MOS-IC）：1個
- ※上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

■使用上の注意とお手入れの方法

△注意

●防水性能

・時計の文字板または裏蓋にある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用ください。

	洗面や用など一時的に水にさらす場合	水浴や水仕事に長時間水にさらす場合	空気圧入を繰り返して使用しない場合	空気圧入を繰り返して使用しない場合	水泳や水仕事に長時間水にさらす場合
非防水	×	×	×	×	×
日常生活用防水	○	×	×	×	×
日常生活用5気圧防水	○	○	×	×	×
強化防水10-15-20気圧防水	○	○	○	×	×

ケースの裏に「WATER RESISTANT」の表示のない時計
 ケースの裏に「WATER RESISTANT」の表示のある時計
 ケースの裏に「WATER RESISTANT-10-15-20 BAR」の表示のある時計
 ケースの裏に「WATER RESISTANT」の表示のある時計

・水分のついたまわりゅうずを回したり、引き出したりしないでください。時計内部に水分が入ることがあります。
 ・水や汗、汚れが付着したままにしておくは避けてください。防水時計でもガラスの接着面・バックシートの劣化や、ステンレスが錆びることにより、防水不良になる恐れがあります。
 ・入浴やサウナの際はご使用を避けてください。蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めます。
 ・直接蛇口から水をかけることは避けてください。水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になる恐れがあります。

△警告

- ・日常生活用防水（3気圧）の時計は水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水（5気圧）の時計は、スキューバダイビングを含めて全ての潜水に使用できません。
- ・日常生活用強化防水（10・20気圧）の時計は、飽和潜水/空気潜水には使用できません。

保管について

- ・「-5℃～+50℃からはずれた温度」下では、機能が低下したり、停止する場合があります。
- ※この時計は常温（5℃～35℃の範囲内）で腕につけた時に安定した精度を得られるように調整してあります。よって、温度によって多少の進み遅れが生ずることがありますが、常温にもどればもとの精度にもどります。
- ・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
- ・強い振動のあるところに放置しないでください。
- ・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
- ・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。
 （薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含むもの：ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー、トイレ用洗剤、接着剤など）
 ・銀、ヨウ素系消毒薬など）
 ・温泉や防虫剤の入ったびきだしなど特殊な環境に放置しないでください。

△注意

●日常のお手入れ

- ・ケース・バンドは肌着類と同様に直接肌に触れています。汚れたままにしておくとサビで衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にご使用ください。
- ・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布で拭き取るように心掛けてください。
- ・すまみ（金属バンド、りゅうず周り、裏ぶた周りなど）の汚れは柔らかい歯ブラシが有効です。
- ・海水に浸けた後は、必ず真水でよく洗ってから拭き取ってください。
- ・その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
- ・りゅうずの錆び付きを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ・ねじロック式りゅうずの場合も同様です。（りゅうずを引く必要はありません）
- 金属バンド
 ・金属バンドは時々柔らかい歯ブラシ等を使い、石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際に、非防水の時計の場合には時計本体に水がかからないようにご注意ください。
- 皮革バンド
 ・革バンドは水分を吸い取るように軽く拭いてください。こするようには拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。
- 軟質プラスチックバンド
 ・ウレタンバンドなど軟質プラスチックでできているバンドは、蛍光灯や太陽光の下に長時間放置されたり、汚れが染み込んだりすることによって、色あせ・変色、あるいは硬くなり切れたりする場合があります。特に半透明のウレタンバンドは、変色などが目立ちやすく、条件によっては数ヵ月のご使用で起こり始める場合があります。湿気の多い場所に保管したり、汗や水で濡れたまま放置しておくと、早く変色することがありますので、汚れたときは、石けん水で洗ってください。ただし、化学製品ですので溶剤によっては変質することがあります。
- 非防水時計は、水・水道の水はぬ、雨、雪など多量の汗にご注意ください。万一、水や汗でぬれた場合には吸湿性のよい布などで水分を拭き取ってください。
- 日常生活用強化防水時計は海中などでの使用のあと、化学薬品類を使用せず、たまたま真水で洗ってください。
- 回転ベゼルつき時計の場合、ベゼル下に汚れ等がたまり回転が重くなる場合がありますので清潔にご使用ください。

△注意

●かぶれやアレルギーについて

- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
- ・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
- ・かぶれの原因として考えられるのは、
 1. 金属・皮革に対するアレルギー
 2. 時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗等です。
- ・万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し、医師にご相談ください。

●その他、携帯上ご注意いただきたいこと

- ・バンドの着脱の際に中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
- ・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合がありますので十分ご注意ください。

△注意

- ・提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによって衣類や手・首などを傷つけることがありますのでご注意ください。

●分解掃除による点検調整（オーバーホール）について

- ・時計は精密機械です。部品の油切れや磨耗により止まり遅れが生じることがあります。その際にはオーバーホールをご依頼ください。オーバーホールの際にはバックシートの交換もご依頼ください。
- ・部品（電池）交換の際は、「純正部品（電池）」をご指定ください。電池が切れたまま長時間放置しますと漏液などで故障の原因になりますので早急に交換をご依頼ください。

■電池について

- (1) 電池寿命
 この時計は新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約3年間作動します。
- (2) 最初の電池
 お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。
- (3) 電池交換
 1 電池交換は、必ずお買い上げ店で「セイコー純正SB電池」とご指定の上、ご用命ください。
 2 電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
 3 電池交換は、保証期間内でも有料となります。
 4 電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能にあった防水検査をご依頼ください。特に10気圧以上のものは検査が必要です。

△警告

- 1 お客様は、時計から電池を取り出さないで下さい。
- 2 やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はただちに幼児の手が届かないところに保管してください。
- 3 万一飲み込んだ場合は、身体に害があるためただちに医師とご相談ください。

△注意

- 1 破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
- 2 この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
- 3 「常温（5℃～35℃）からはずれた温度」下で長時間放置すると電池が漏液したり、電池寿命が短くなったりすることがあります。

■修理について

- 1 万一故障した場合には、お買い上げ店にお持ちください。保証期間内の場合は保証書を添えてください。保証内容は、保証書に記載のとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。
- 2 この時計の修理用品の保有期間は通常7年間を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。
- 3 修理期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談はお買い上げ店でうけたまわっております。なお、ご不明の点は「セイコーウオッチ株式会社お客様相談窓口」にお問い合わせください。
- 4 修理のとき、ムーブメントを交換させていただいたり、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどに、一部代替部品を使用させていただくこともありますが、ご了承ください。また、ケースごと一式交換や代替品に替わることもありますので、併せてご了承ください。
- 5 修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合がありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。

取扱説明書 INSTRUCTION 説明書 5Y67C

WIRED 説明書 5Y66・5Y67

このたびはワイアードをお買いあげいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手もとに保存し、必要に応じてご覧ください。

セイコーウオッチ株式会社
 〒105-8467 東京都港区芝浦1丁目2番1号

セイコーウオッチ株式会社
<http://www.seiko-watch.co.jp/>

全国共通フリーダイヤル 0120-612-911
 (下記の最寄りに着信いたします)

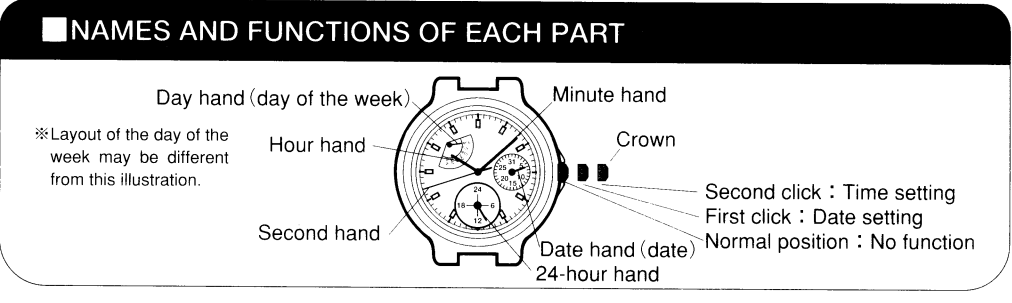
お客様相談室
 〒104-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-1-10
 〒556-0013 大阪府西成区新町 1-4-24 (大阪府新町ビルディング 8階)

0705

FEATURES

Indicates 24-hour, date, and day of week by hands in addition to hour, minute and second. The day hand moves reciprocating (retrograde type) in a fan-like fashion.

- ※24-hour hand works in conjunction with the hour hand. It cannot be individually corrected.
- ※The hand indicating the day of the week has no correction mechanism, therefore, it is to be adjusted by turning the hour hand and minute hand when setting the time. Please refer to "How to use."



HOW TO USE

How to set the day of the week and time
 The hand indicating the day of the week has no correction mechanism. Then, first, set the day of the week by turning the hour hand and minute hand.

- When the second hand reaches the 12 o'clock position (0 seconds), pull out the crown to the second click. Then the watch stops.
- Turn the crown clockwise to advance the hour and minute hands. When the time has passed 0 o'clock a.m., the day hand starts moving. Further advance the hour and minute hands until the day hand indicates the next day of the week. If the day hand is required to be advanced further, return the hour and minute hands by 4 to 5 hours and turn the hour and minute hands in the advancing direction to allow the day hand to advance quickly. Repeat the above procedures to set the day hand. (Set the day hand by reciprocating from 11 P.M. to 4 A.M.)
 ※Please rotate the crown gently.
- Set the time after the day of the week is set.
 ※Set the time so as not to set a.m. and p.m. in error. (Date and day of the week are designed to change once every 24 hours.)
 ※To set correctly, advance the minute hand by 4 to 5 minutes from the correct time and return it in reverse.
 ※Telephone time announcement service 117 is convenient for time setting.
- Wait for the time announcement of the adjusted time, and push the crown back in to the normal position at the same time with the time announcement.

How to set the date
 Set the date after the time is set. Adjust the date on the first date of the month after the even month (the number of days for a month is 30 days) or February.

- Pull out the crown to the first click.
- Set the date by turning the crown counterclockwise.
 ※Turn the crown gently so as to check the movement of the date hand.
 ※When the hands indicate 9 P.M. to 1 A.M., do not set the date, otherwise, the date setting cannot be carried out, or the date may not be changed to the next day even after setting the date.
- After the date is set, push the crown back in to the normal position.

LUMIBRITE

(IF YOUR WATCH HAS LUMIBRITE)

LumiBrite is a newly-developed paint that absorbs the light energy of the sunlight and lighting apparatus in a short time and stores it to emit light in the dark. For example, if exposed to a light of more than 500 lux for approximately 10 minutes, LumiBrite can emit light for 3 to 5 hours. Please note, however, that, as LumiBrite emits the light it stores, the luminance level of the light decreases gradually over time. The duration of the emitted light may also differ slightly depending on such factors as the brightness of the place where the watch is exposed to light and the distance from the light source to the watch.

SPECIFICATIONS

- Frequency of crystal oscillator: 32,768 Hz (Hz = Hertz ... Cycles per second)
- Loss/gain (monthly rate): Less than 20 seconds (worn on the wrist within normal temperature range between 5°C and 35°C)
- Operational temperature range: Between -5°C and +50°C
- Driving systems: Step motor
- Power source: Silver oxide battery SB-AN, 1 piece
- Battery life: Approximately 3 years
- IC (Integrated Circuit): Oscillator, frequency divider and driving circuit (C-MOS-IC), 1 piece

※The specifications are subject to change without prior notice due to product improvements.

TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

CAUTION

WATER RESISTANCE

Check the dial or case back of your watch for the water resistant quality, and then see the table below.

	Designed and manufactured to withstand the water usually experienced in a day long such as splashes and rain	Designed and manufactured for swimming and water work	Skindiving without scuba and bathing	Genuine diving using scuba or helmets	Crown operation when the watch is wet
"WATER RESISTANT" is not inscribed on the back of your watch case.	×	×	×	×	×
"WATER RESISTANT" is inscribed on the back of your watch case.	○	×	×	×	×
"WATER RESISTANT 5 10 - 15 - 20 BAR", "WATER RESISTANT" and marks inscribed on the back of your watch case.	○	○	×	×	×
	○	○	○	×	×

Do not turn or pull out the crown when the watch is wet, as water may get inside the watch.
 Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time. Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.
 Do not wear the watch while taking a bath or a sauna. Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.
 Do not pour running water directly from faucet. The water pressure of tap water from a faucet is high enough to degrade the water resistant performance of a water resistant watch for everyday life.

WARNING

- If your watch is 3 bar water resistant, do not use it in water.
- If your watch is 5 bar water resistant, do not use it in any type of diving including skin diving.
- If your watch is 10 or 20 bar water resistant, do not use it in saturation diving or scuba diving.

PLACES TO KEEP YOUR WATCH

- If the watch is left in a temperature below -5°C or above +50°C for a long time it may function improperly or stop operating.
- This watch is so adjusted that it will maintain stable time accuracy in normal temperatures. (5°C ~ 35°C) It will lose or gain slightly, but it will regain high time accuracy when it returns to normal temperature.
- Do not leave the watch in a place where it is subjected to strong magnetism or static electricity.
- Do not leave the watch where there is strong vibration.
- Do not leave the watch in a dusty place.
- Do not expose the watch to gases or chemicals. (Ex.: Organic solvents such as benzene and thinner, gasoline, nail polish, cosmetic spray, detergent, adhesives, mercury, and iodine antiseptic solution.)
- Do not leave the watch in a hot spring, or do not keep it in a drawer having insecticides inside.

CAUTION

CARE OF YOUR WATCH

- The case and bracelet touch the skin directly just as underwear. If they are left dirty, the edge of a sleeve may be stained with rust of those who have a delicate skin may have a rash.
- Please wipe away moisture, sweat or dirt with a soft cloth.
- To clean the clearances (around the metal bracelet, crown or case back), a soft toothbrush is convenient.
- After soaking the watch in seawater, be sure to wash the watch in clean pure water and wipe it dry carefully.
- In order to prevent corrosion of the crown, turn the crown from time to time.
- The same practice should be applied to a screw lock type crown. (No need to pull out the screw lock type crown.)

METAL BRACELET

- Clean the watch bracelet with a soft toothbrush dipped in water or soapy water. If your watch is not water-resistant, be careful not to get the case wet when cleaning.

LEATHER BAND

- When removing moisture from a leather band, do not rub the band with the cloth as this may discolor it or reduce its gloss. Be sure to blot up the moisture using a soft dry cloth.

SOFT PLASTIC BRACELET

- If your watch has a soft plastic band such as urethane band, do not leave the watch under a fluorescent lamp or direct sunlight for a long time, or do not leave the band soiled. Otherwise, the band may be discolored, hardened or broken. Also, do not keep the watch in a place where it is exposed to high humidity, or do not leave the band wet with perspiration or water. Otherwise, the band may be discolored in a very short time. When the band is soiled, rinse it in soapy water. Do not use solvents for cleaning as some solvents may deteriorate the band.
- If your watch has a semitransparent urethane band, which is easily discolored, special care should be taken to keep it clean. Depending on the condition of use, the semitransparent band may be discolored after several months of use.

- If your watch is not water-resistant, be careful not to get wet with water or sweat. When it gets wet with water or sweat, wipe it thoroughly dry with a hygroscopic cloth.
- If your watch is 5, 10 or 20 bar water resistant, rinse it in a bowl of fresh water after used in seawater. Do not use chemicals to wash it.
- If your watch has a rotating bezel, clean the bezel regularly. Otherwise, dust will gather under it, making the rotation harder.

CAUTION

RASH AND ALLERGY

- Adjust the bracelet or band so that there will be a little clearance between the bracelet or band and your wrist to avoid accumulation of perspiration.
- If you are constitutionally predisposed to rash, the band may cause you to develop a rash or an itch depending on your physical condition.
- The possible causes of the rash are as follows:
 - Allergy to metals or leathers
 - Rust, dust or perspiration on the watch or band
- If you develop any skin reactions, take off the watch and consult a doctor immediately.

PRECAUTIONS ON WEARING YOUR WATCH

Take utmost care in the following cases:

- When clasping and unclasping the band, you may damage your nail, depending on the type of clasp used with the band.
- In case you tumble and fall or bump into others with the watch worn on your wrist, you may be injured by the reason of the fact that you wear the watch.
- When you make contact with children, especially with infants, they may get injured or develop a rash caused by allergy.

CAUTION

- If your watch is of the fob or pendant type, the strap or chain attached to the watch may damage your clothes, or injure the hand, neck, or other parts of your body.

NOTES ON OVERHAUL

- The watch is a precision device. If the parts run short of the oil or get worn out, the watch may stop its operation or lose time. In such a case, have the watch overhauled. Be sure to have the gasket and push-pin replaced with new ones when overhauling the watch.
- When the replacing the parts or battery, please specify "SEIKO GENUINE PARTS". If an old battery is kept in the watch for a long time, electrolyte leakage from the battery may damage the module.

REMARKS ON THE BATTERY

NOTES ON THE BATTERY

- Battery Life**
 When a new normal battery is installed, this watch operates for approximately three years.
- Monitor battery**
 The battery in your watch may run down in less than three years after the date of purchase, as it is a monitor battery which is inserted at the factory to check the function and performance of the watch.
- Battery change**
 For battery replacement, be sure to have the battery replaced with a new one at the retailer from whom the watch was purchased and request the BATTERY for exclusive use with the SEIKO watches.
 If the old battery is left in the watch for a long time, a malfunction may be caused due to battery leakage, etc. Have it replaced with a new one as soon as possible.
 Battery replacement is charged even if it runs down within the guarantee period.
 Once the case back is opened for battery replacement or other purposes, the original water resistant quality designed for the watch may deteriorate when it is closed. When you have the battery replaced with a new one, also request the water resistance test pertaining to the water resistant quality of your watch. If your watch has 10-bar or higher water resistant quality, be sure to have such test performed on the watch every time the battery is replaced.

WARNING

- Do not remove the battery from the watch.
- If it is necessary to take out the battery, keep it out of the reach of children.
- If the child swallows it, consult a doctor immediately as it will adversely affect the health of the child.

CAUTION

- Never short-circuit, tamper with or heat the battery, or never expose it to fire as it may explode, generate and intense heat or catch fire.
- The battery in your watch is not rechargeable. Never attempt to recharge it, as this may cause battery leakage or damage to the battery.
- If the watch is left in a temperature below +5°C or above +35°C for a long time, the battery leakage may result, causing the battery life to be shortened.

AFTER-SALE SERVICE

- If the watch requires service, take it to the retailer from whom the watch was purchased. If the trouble occurs within the guarantee period, submit the certificate of guarantee together with the watch. Guarantee coverage is spelled out in the certificate of guarantee. Please read it carefully and keep the certificate for ready.
- SEIKO makes it a policy to usually keep a stock of spare parts for its watches for 7 years. In principle, your watch can be reconditioned within this period if used normally.
- For repair after the guarantee period or for any other information regarding the watch, contact the retailer from whom the watch was purchased or the "CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT" of SEIKO WATCH CORPORATION.
- The case, dial, hands, glass and bracelet, or parts thereof may be repaired with substitutes if the originals are not available. If necessary, movements will be replaced. Depending on the condition of the watch, the complete set of the watch body may be replaced with a new one or substitute product.
- The number of years that a watch is considered repairable may vary greatly depending on the condition under which used, and normal accuracy may not be achieved in some cases. We recommend, therefore, that you consult the retailer from whom the watch was purchased when having them repair your watch.